

“第十五回東京高津二八会”開催

世話役 石原靖造 松原和子 筆役野口幹夫

好天夏日の5月30日、東京高津二八会は銀座サッポロライオンにて開催されました。

遠くは大阪から荒田直子さん、静岡から神（岸本）美代子さん、更に太田隆次さんの初参加を得て、総勢13名が銀座に集いました。正しく“朋有り、遠方より来る”でありました。

宴会は長谷聖一郎君の乾杯発声で始まり、先ず野口幹夫君より高津百年記念誌が発行されそれを入手紹介してくれたご縁で今日は是非とも参加してほしいと頼んで来てくれた太田隆次氏を紹介しました。彼は高津2年生の初めに転校されたため、同窓会には遠慮されておられるのです。しかし5期ホームページの発足当時からユニークな文を投稿された常連で皆さんおなじみです。彼のお蔭で入手した記念誌から我々の在学した1950年から1952年の額田さんの紹介文まで3ページを記念として皆さんに配付しました。後に添付します。そして太田さんから自己紹介いただきました。その素晴らしい業績の一覧表を添付します。そしてその主著の一つである「万葉時代のさらり一まん」を全員にプレゼントしていただきました。令和の発表があった日太田さんから5期ホームページ用に万葉集の引用箇所を掘り当て、いち早く解説してくれてものですから、急いでその日のうちに掲載した逸話も紹介しました。その引用文も持ってきていただいたのですが、それはHPをご覧ください。

引き続き、順次皆さんに近況を語って頂きました。現在も得意の分野でボランティア活動をされておられる方、高津歩こう会に参加されて百年記念誌のDVDを入手された方、バスケット仲間の病気見舞いの話、老々介護の中でも楽しみを見つけておられる話、中でも女性は意気軒昂でした。100オクラブが出来そうでした。これも皆さんお元気だから出来る事だと聞き入っていた次第です。この会が終わると女性群は熱海に遠征されました。

宴は終わるところを知らず、時間をオーバーしてしまいましたので、頃合いを見て皆さんに次回東京二八会に付きお諮りした処、今年と同

じ場所で、5月28日(木)幹事 石原・松原のコンビで開催する事に決まりました。

一時から始まった宴会は時の経つのを忘れ、四時近くになっていました。最後に記念写真を撮り、名残を惜しんでの散会でした。

終わりに当たり、遠来の参加者を初め皆さんご協力のお陰で無事東京二八会を終える事が出来ました。ここに心よりお礼申し上げますと共に来年も是非お元気な顔を見せて頂く様お願いする次第です。大阪の方には東京見物を兼ねてお出掛け頂ければ幸いです。

令和元年6月1日

以上



記念写真

前列左から(敬称略) 木村芙紀子 松原和子 須藤マサエ 荒田直子 神美代子 石原靖造

後列左から水谷眞次郎 長谷聖一郎 深江久夫 蓑田光弘 太田隆次 野口幹夫 小国益男